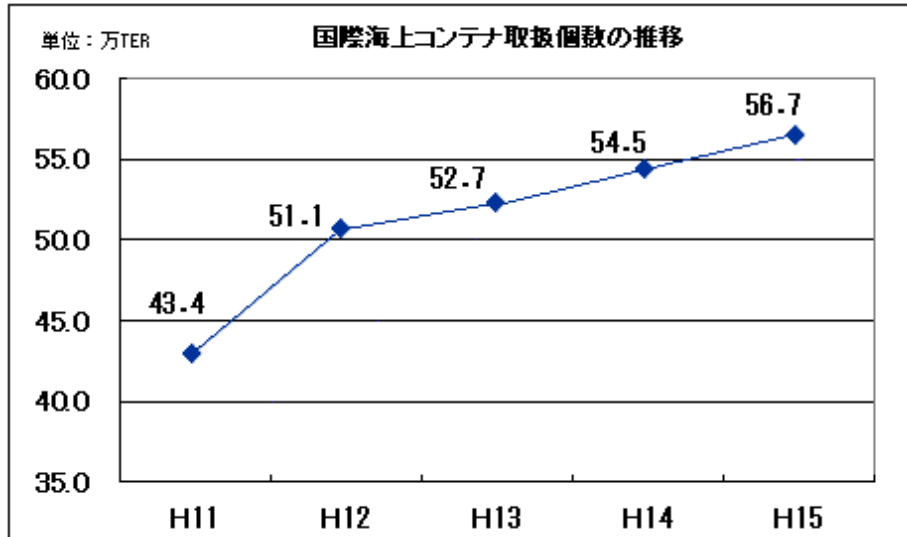


平成 15 年における港勢データ

○平成 15 年国際海上コンテナ取扱個数 56 万 7,044TEU、過去最高を更新

平成 15 年国際海上コンテナ取扱個数は、前年比 4.0%増の 56 万 7,044TEU で過去最高を更新。輸出は、タイヤ等の“ゴム製品”(前年比 104.2%)、故紙等の“再利用資材”(同 126.1%)、“二輪自動車”(同 109.3%)等の増加により 0.5 万 TEU 増加した。

輸入は、牧草等の“動植物性製造飼肥料”(前年比 105.1%)、家具等の“家具装備品”(同 116.5%)、“衣服・身廻品・はきもの”(同 111.6%)等の増加により、1.6 万 TEU 増加した。



※コンテナ取扱個数はダイレクトとフィーダーの合計値。

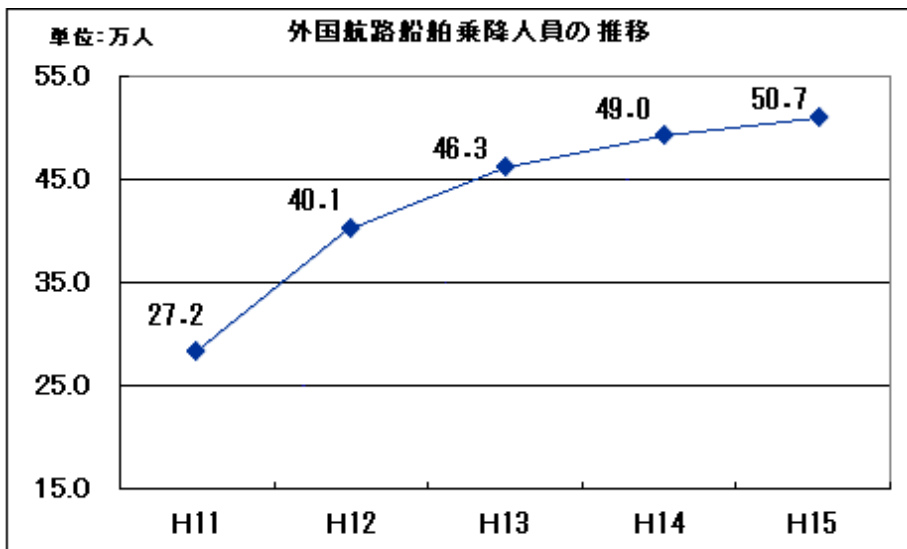
※ TEU(Twenty-foot Equivalent Unit) : コンテナ個数を数えるときの単位。
20 フィート換算個数のこと。
20 フィートコンテナ 1 個が 1TEU。
40 フィートコンテナ 1 個は 2TEU。

○平成 15 年外国航路船舶乗降人員、ついに 50 万人の大台を突破。

平成 15 年外国航路船舶乗降人員は 50 万 6,739 人で、平成 14 年実績(48 万 9,683 人)をさらに上回り、過去最高を更新。ついに 50 万人の大台を突破した。

韓国航路においては 4 月から 6 月にかけて重症急性呼吸器症候群(SARS)の影響によるものと考えられる減少が見られたものの、7 月以降は対前年で 35,306 人、13.1%の増加。あらためて韓国人気の根強さが示された。

また、全国の港湾の中でも、平成5年以降 11 年連続の第 1 位となる見込み。



1. 入港船舶

入港船舶数は41,708隻(前年比99.7%)、総トン数は5,437万総トン(同95.1%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数5,923隻(同109.4%)・総トン数2,826万総トン(同91.2%)、内航は隻数35,785隻(同98.2%)・総トン数2,611万総トン(同99.8%)であった。〈図-1、表-1 参照〉

図-1 入港船舶の推移

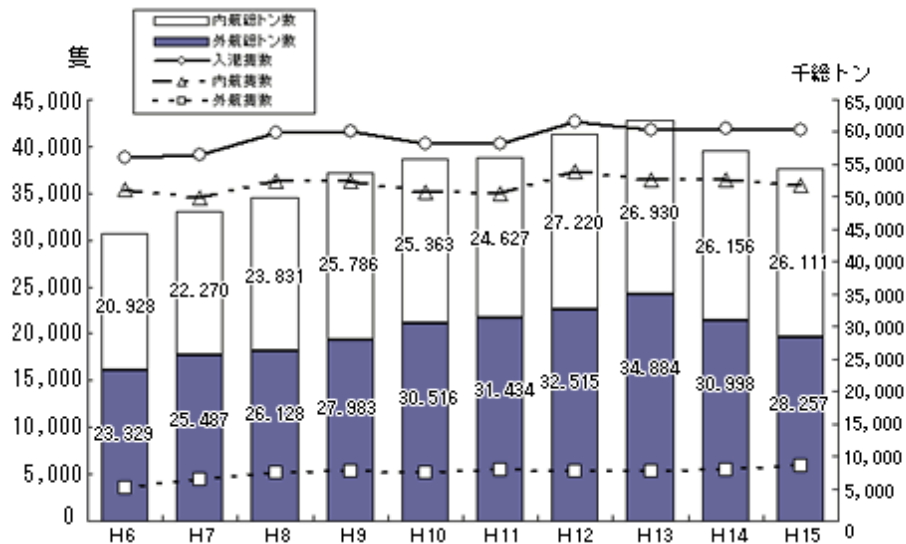


表-1 入港船舶の推移

(単位: 隻、総トン)

区分	平成15年		14年		13年		12年		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
外航	隻数	5,923	109.4%	5,412	101.3%	5,345	99.3%	5,382	99.0%
	総トン数	28,256,948	91.2%	30,997,602	88.9%	34,883,779	107.3%	32,514,774	103.4%
内航	隻数	35,785	98.2%	36,439	100.0%	36,430	97.7%	37,279	106.8%
	総トン数	26,110,952	99.8%	26,156,498	97.1%	26,929,899	98.9%	27,220,368	110.5%
総数	隻数	41,708	99.7%	41,851	100.2%	41,775	97.9%	42,661	105.7%
	総トン数	54,367,900	95.1%	57,154,100	92.5%	61,813,678	103.5%	59,735,142	106.6%

2. 海上出入貨物量

海上出入貨物量は、外国貿易1,251万トン(前年比101.5%)、内国貿易2,424万トン(同99.5%)であり、総貨物量は3,675万トン(同100.1%)であった。これを出入別に割合及びその貨物量を見ると、輸移入は32.8%・1,207万トン、輸移入は67.2%・2,469万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。〈図-2、表-2 参照〉

図-2 取扱貨物量の推移

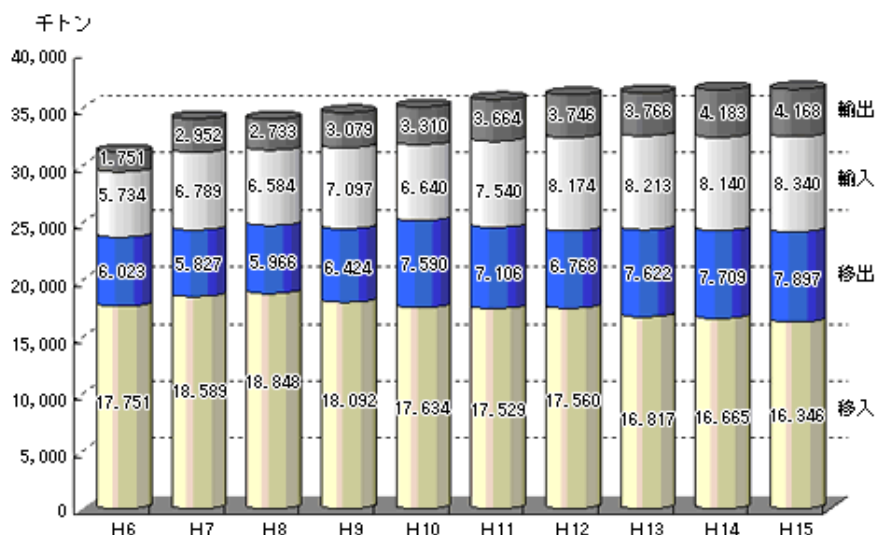


表-2 海上出入貨物量の推移

(単位:トン)

区分	平成 15 年		14 年		13 年		12 年		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
外国貿易	輸出	4,167,881	99.6%	4,182,807	111.1%	3,766,073	100.5%	3,745,795	102.2%
	輸入	8,340,160	102.5%	8,139,710	99.1%	8,212,898	100.5%	8,174,385	108.4%
	計	12,508,041	101.5%	12,322,517	102.9%	11,978,971	100.5%	11,920,180	106.4%
内国貿易	移出	7,897,381	102.4%	7,709,024	101.1%	7,622,254	112.6%	6,768,314	95.3%
	移入	16,345,751	98.1%	16,664,708	99.1%	16,817,122	95.8%	17,560,002	100.2%
	計	24,243,132	99.5%	24,373,732	99.7%	24,439,376	100.5%	24,328,316	98.8%
総数	輸移出	12,065,262	101.5%	11,891,831	104.4%	11,388,327	108.3%	10,514,109	97.6%
	輸移入	24,685,911	99.5%	24,804,418	99.1%	25,030,020	97.3%	25,734,387	102.7%
	計	36,751,173	100.1%	36,696,249	100.8%	36,418,347	100.5%	36,248,496	101.1%

※フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数は含まない

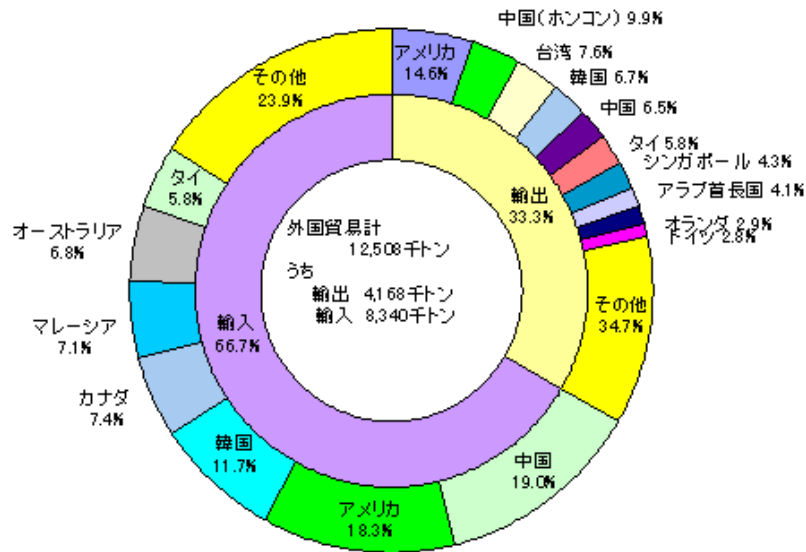
表-3 フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数の推移

(単位:トン)

区分	平成 15 年		14 年		13 年		12 年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
移出	2,598,900	111.2%	2,337,365	95.5%	2,447,735	99.9%	2,450,550	121.9%
移入	2,757,090	107.3%	2,570,230	97.3%	2,640,395	99.5%	2,654,175	113.7%
計	5,355,990	109.1%	4,907,595	96.5%	5,088,130	99.7%	5,104,725	117.5%

2-1. 外国貿易

図-3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



2-1-1. 輸出

(1)貨物量

輸出貨物量は 4,168 千トン(前年比 99.6%)であり、外国貿易の 33.3%を占めている。<図-3, 表-2参照>

(2)品種別

輸出貨物量 4,168 千トンのうち「ゴム製品」が 1,826 千トン(43.8%)、「産業機械」が 410 千トン(9.8%)、「再利用資材」が 312 千トン(7.5%)であった。<図-4・5、表-4 参照>

図-4 輸出(4,168千トン)

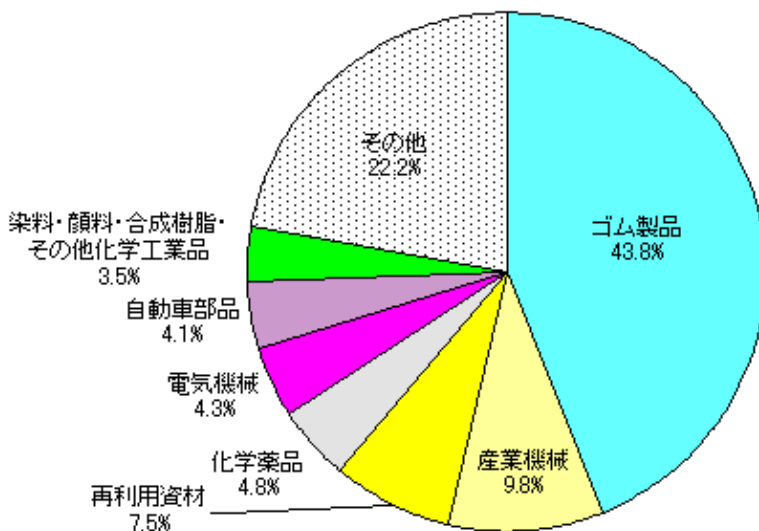
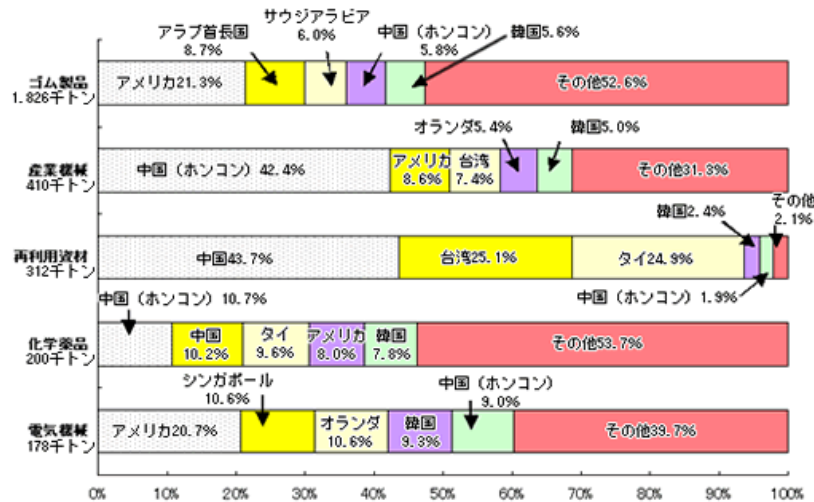


表-4 輸出 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	H15. 1-12月	構成比	H14. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	1,826,208	43.8%	1,872,743	44.8%	▲46,535	97.5%
2	産業機械	409,740	9.8%	364,446	8.7%	▲45,294	112.4%
3	再利用資材	312,342	7.5%	244,756	5.9%	▲67,586	127.6%
4	化学薬品	200,028	4.8%	252,700	6.0%	▲52,672	79.2%
5	電気機械	178,260	4.3%	238,175	5.7%	▲59,915	74.8%
6	自動車部品	170,709	4.1%	191,849	4.6%	▲21,140	89.0%
7	染料・顔料・合成樹脂・その他化学工業品	144,683	3.5%	117,033	2.8%	▲27,650	123.6%
	上記以外その他	925,911	22.2%	901,105	21.5%	▲24,806	102.8%
	合計	4,167,881	100.0%	4,182,807	100.0%	▲14,926	99.6%

図-5 上位5品種の輸出相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、アメリカが 609 千トン(14.6%)、中国(ホンコン)が 412 千トン(9.9%)、台湾が 319 千トン(7.6%)以下韓国、中国と続いている。<図-3、表-5 参照>

表-5 輸出 国・地域別取扱量(上位10カ国・地域)

(単位:トン)

順位	最終船卸国・地域名	H15. 1-12月	構成比	H14. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	アメリカ	608,877	14.6%	838,032	20.0%	▲229,155	72.7%
2	中国(ホンコン)	411,616	9.9%	242,460	5.8%	▲169,156	169.8%
3	台湾	318,503	7.6%	327,059	7.8%	▲8,556	97.4%
4	韓国	281,000	6.7%	190,911	4.6%	▲90,089	147.2%
5	中国	269,733	6.5%	271,593	6.5%	▲1,860	99.3%
6	タイ	241,841	5.8%	157,864	3.8%	▲83,977	153.2%
7	シンガポール	179,694	4.3%	183,342	4.4%	▲3,648	98.0%
8	アラブ首長国	171,045	4.1%	123,010	2.9%	▲48,035	139.0%
9	オランダ	121,178	2.9%	257,661	6.2%	▲136,483	47.0%
10	ドイツ	116,888	2.8%	156,604	3.7%	▲39,716	74.6%
	上記以外その他	1,447,506	34.7%	1,434,271	34.3%	▲13,235	100.9%
	合計	4,167,881	100.0%	4,182,807	100.0%	▲14,926	99.6%

2-1-2. 輸入

(1)貨物量

輸入貨物量は8,340千トン(前年比102.5%)であり、外国貿易の66.7%を占めている。<図-3、表-2参照>

(2)品種別

輸入貨物量8,340千トンのうち「動植物性製造飼肥料」が859千トン(10.3%)、「麦」が831千トン(10.0%)、「家具装備品」が720千トン(8.6%)であった。<図-6・7、表-6参照>

図-6 輸入(8,340千トン)

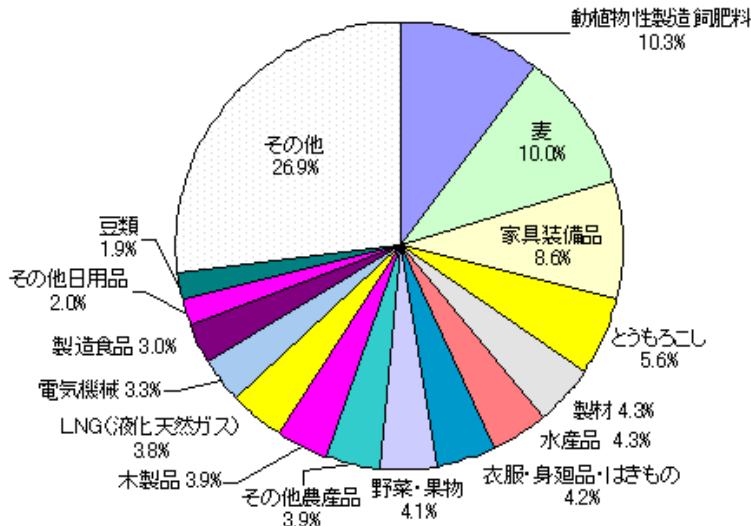
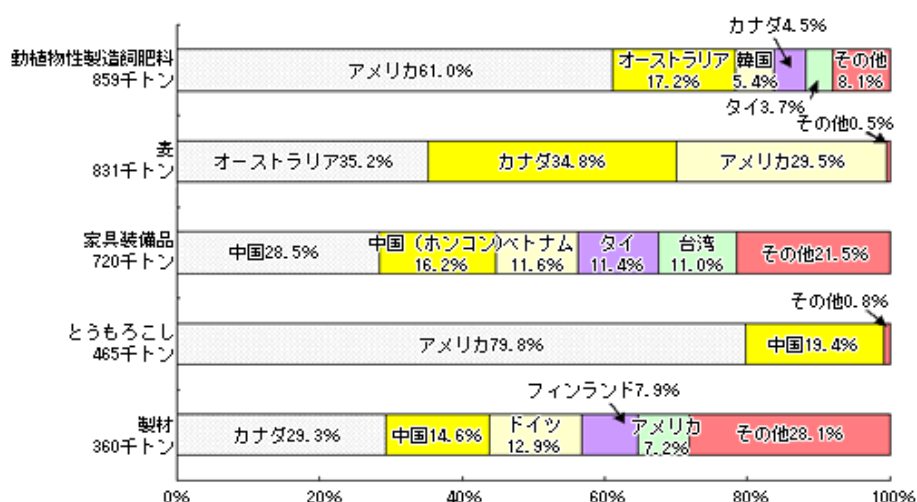


表-6 輸入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	H15. 1-12月	構成比	H14. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	動植物性製造飼肥料	859,162	10.3%	869,681	10.7%	▲10,519	98.8%
2	麦	830,846	10.0%	943,693	11.6%	▲112,847	88.0%
3	家具装備品	720,312	8.6%	651,141	8.0%	69,171	110.6%
4	とうもろこし	465,085	5.6%	385,377	4.7%	79,708	120.7%
5	製材	359,669	4.3%	351,679	4.3%	7,990	102.3%
6	水産品	355,450	4.3%	414,909	5.1%	▲59,459	85.7%
7	衣服・身廻品・はきもの	349,526	4.2%	305,586	3.8%	43,940	114.4%
	上記以外その他	4,400,110	52.8%	4,217,644	51.8%	182,466	104.3%
	合計	8,340,160	100.0%	8,139,710	100.0%	200,450	102.5%

図-7 上位5品種の輸入相手国・地域



(3) 主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が 1,584 千トン(19.0%)、アメリカが 1,523 千トン(18.3%)、韓国が 974 千トン(11.7%) 以下カナダ、マレーシアと続いている。<図-3、表-7参照>

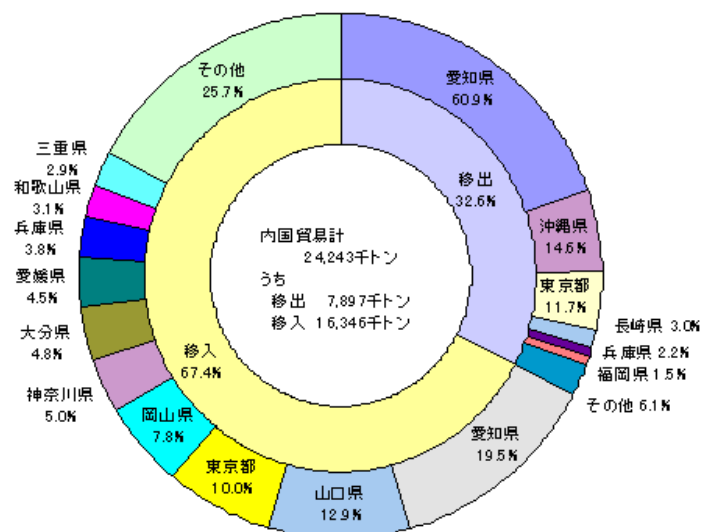
表-7 輸入 国・地域別取扱量(上位10カ国・地域)

(単位:トン)

順位	最終船卸国・地域名	H15. 1-12月	構成比	H14. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	中国	1,583,938	19.0%	1,401,535	17.2%	182,403	113.0%
2	アメリカ	1,523,022	18.3%	1,575,443	19.4%	▲52,421	96.7%
3	韓国	974,199	11.7%	785,956	9.7%	188,243	124.0%
4	カナダ	617,021	7.4%	661,531	8.1%	▲44,510	93.3%
5	マレーシア	595,898	7.1%	542,235	6.7%	53,663	109.9%
6	オーストラリア	569,904	6.8%	653,079	8.0%	▲83,175	87.3%
7	タイ	479,859	5.8%	518,578	6.4%	38,719	92.5%
8	中国(ホンコン)	317,666	3.8%	222,919	2.7%	94,747	142.5%
9	フィリピン	263,509	3.2%	181,868	2.2%	81,641	144.9%
10	インドネシア	247,887	3.0%	271,521	3.3%	▲23,634	91.3%
	上記以外その他	1,167,257	14.0%	1,325,045	16.3%	▲157,788	88.1%
	合計	8,340,160	100.0%	8,139,710	100.0%	200,450	102.5%

2-2. 内国貿易

図-8 内国貿易(移出・移入相手都道府県別)



※図-8・10・12 及び表-9・11 については、仕出・仕向港に基づく都道府県の集計である。

2-2-1. 移出

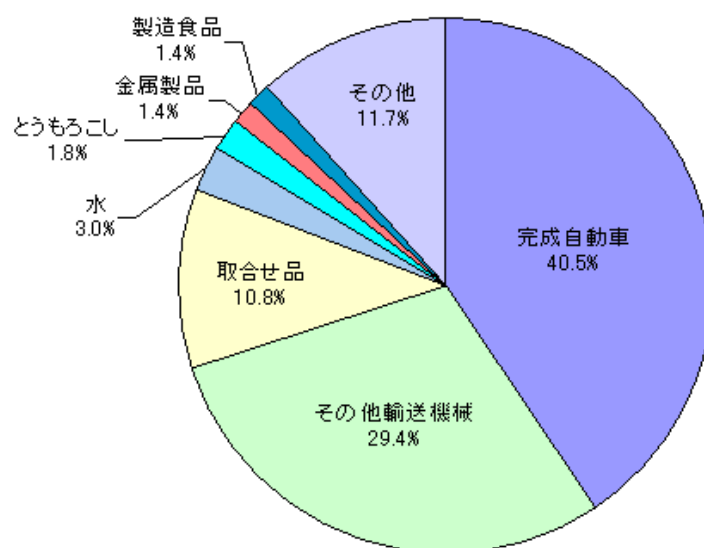
(1)貨物量

移出貨物量は7,897千トン(前年比102.4%)であり、内国貿易の32.6%を占めている。<表-2, 図-8参照>

(2)品種別

移出貨物量7,897千トンのうち「完成自動車」が3,197千トン(40.5%)、「その他輸送機械」が2,324千トン(29.4%)、「取合せ品」が855千トン(10.8%)であった。<図-9・10, 表-8参照>

図-9 移出(7,897千トン)

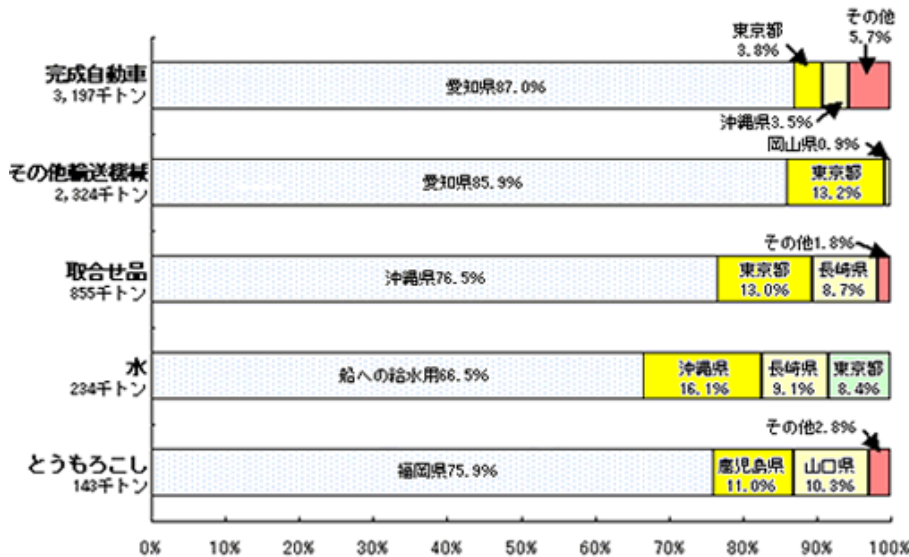


表一8 移出 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	H15. 1-12月	構成比	H14. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	完成自動車	3,197,167	40.5%	3,149,477	40.9%	47,690	101.5%
2	その他輸送機械	2,324,240	29.4%	2,268,657	29.4%	55,583	102.5%
3	取合せ品	854,911	11.0%	846,676	11.0%	8,235	101.0%
4	水	233,975	3.0%	232,169	3.0%	1,806	100.8%
5	とうもろこし	143,222	1.8%	150,856	2.0%	▲7,634	94.9%
6	金属製品	111,698	1.4%	118,083	1.5%	▲6,385	94.6%
7	製造食品	107,967	1.4%	112,952	1.5%	▲4,985	95.6%
	上記以外その他	924,201	11.7%	830,154	10.8%	94,047	111.3%
	合計	7,897,381	100.0%	7,709,024	100.0%	188,357	102.4%

図一10 上位5品種の移出相手都道府県



(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、愛知県が4,813千トン(60.9%)、沖縄県が1,154千トン(14.6%)、東京都が926千トン(11.7%)以下長崎県、兵庫県と続いている。<図一8、表一9 参照>

表一9 移出 都道府県別取扱量(上位7都道府県)

(単位:トン)

順位	品種	H15. 1-12月	構成比	H14. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	愛知県	4,813,451	60.9%	4,942,468	64.1%	▲129,017	97.4%
2	沖縄県	1,154,116	14.6%	1,095,989	14.2%	58,127	105.3%
3	東京都	926,439	11.7%	749,367	9.7%	177,072	123.6%
4	長崎県	233,353	3.0%	220,750	2.9%	12,603	105.7%
5	兵庫県	170,956	2.2%	115,992	1.5%	54,964	147.4%
6	福岡県	120,882	1.5%	111,461	1.4%	9,421	108.5%
7	岡山県	88,533	1.1%	68,560	0.9%	19,973	129.1%
	上記以外その他	389,651	4.9%	404,437	5.2%	▲14,786	96.3%
	合計	7,897,381	100.0%	7,709,024	100.0%	188,357	102.4%

2-2-2. 移入

(1)貨物量

移入貨物量は 16,346 千トン(前年比 98.1%)であり、内国貿易の 67.4%を占めている。<表-2, 図-8参照>

(2)品種別

移入貨物量 16,346 千トンのうち「完成自動車」が 4,253 千トン(26.0%)、「石油製品」が 4,138 千トン(25.3%)、「砂利・砂」が 2,435 千トン(14.9%)であった。<図-11・12、表-9 参照>

図-11 移入(16,346千トン)

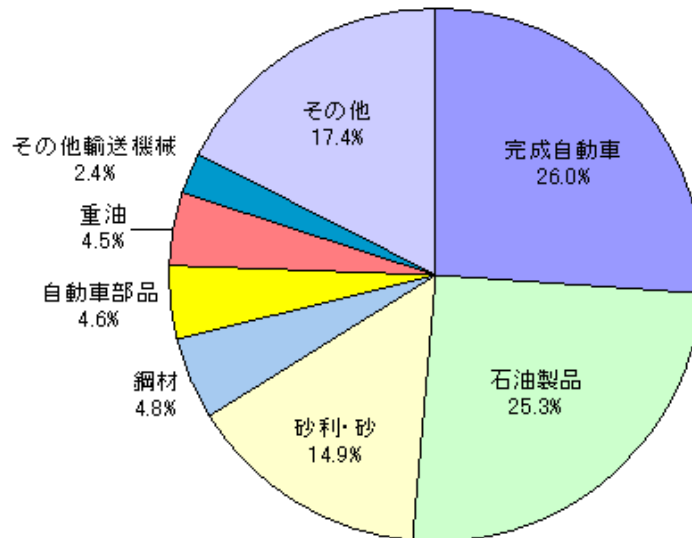
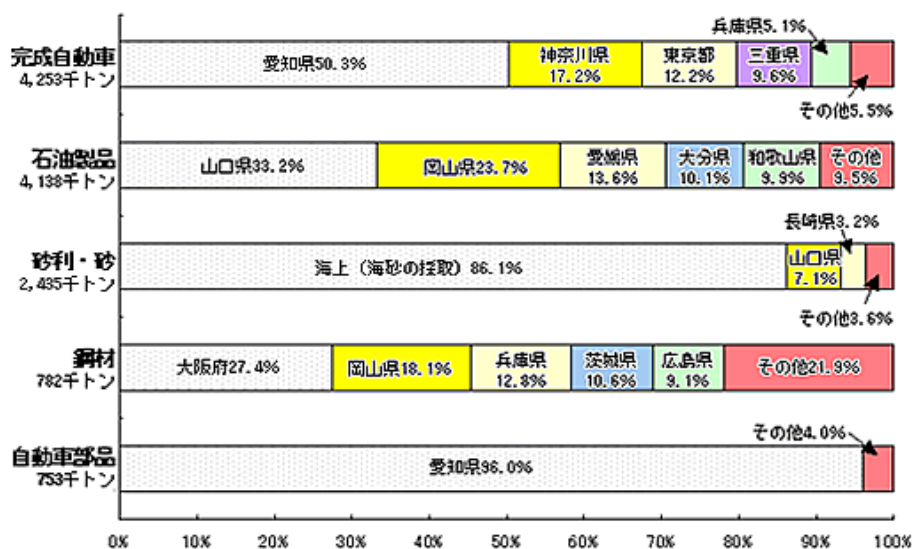


表-10 移入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	H15. 1-12月	構成比	H14. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	完成自動車	4,253,413	26.0%	4,495,950	27.0%	▲242,537	94.6%
2	石油製品	4,137,702	25.3%	4,116,605	24.7%	▲21,097	100.5%
3	砂利・砂	2,435,427	14.9%	2,531,238	15.2%	▲95,811	96.2%
4	鋼材	782,117	4.8%	800,372	4.8%	▲18,255	97.7%
5	自動車部品	752,988	4.6%	784,654	4.7%	▲31,666	96.0%
6	重油	734,718	4.5%	756,138	4.5%	▲21,420	97.2%
7	その他輸送機械	398,630	2.4%	265,382	1.6%	▲133,248	150.2%
	上記以外その他	2,850,756	17.4%	2,914,369	17.5%	▲63,613	97.8%
	合計	16,345,751	100.0%	16,664,708	100.0%	▲318,957	98.1%

図-12 上位5品種の移入相手都道府県



(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、愛知県が3,181千トン(19.5%)、山口県が2,111千トン(12.9%)、東京都が1,639千トン(10.0%)以下岡山県、神奈川県と続いている。(図-8、表-11 参照)

表-11 移入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	H15. 1-12月	構成比	H14. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	愛知県	3,180,920	19.5%	3,291,966	19.8%	▲111,046	96.6%
2	山口県	2,110,740	12.9%	2,181,934	13.1%	▲71,194	96.7%
3	東京都	1,638,582	10.0%	1,517,129	9.1%	121,453	108.0%
4	岡山県	1,282,843	7.8%	1,447,319	8.7%	▲164,476	88.6%
5	神奈川県	809,911	5.0%	838,755	5.0%	▲28,844	96.6%
6	大分県	783,047	4.8%	791,558	4.7%	▲8,511	98.9%
7	愛媛県	733,461	4.5%	635,476	3.8%	97,985	115.4%
	上記以外その他	5,806,247	35.5%	5,960,571	35.8%	▲154,324	97.4%
	合計	16,345,751	100.0%	16,664,708	100.0%	▲318,957	98.1%

3. 国際海上コンテナ取扱個数

国際海上コンテナ取扱個数は、567,044TEU(前年比 104.0%)であった。なお、ダイレクトコンテナは 531,926TEU(同 104.2%)、フィーダーコンテナは 35,118TEU(同 100.6%)であった。<図-13、表-12 参照>

図-13 国際海上コンテナ個数の推移

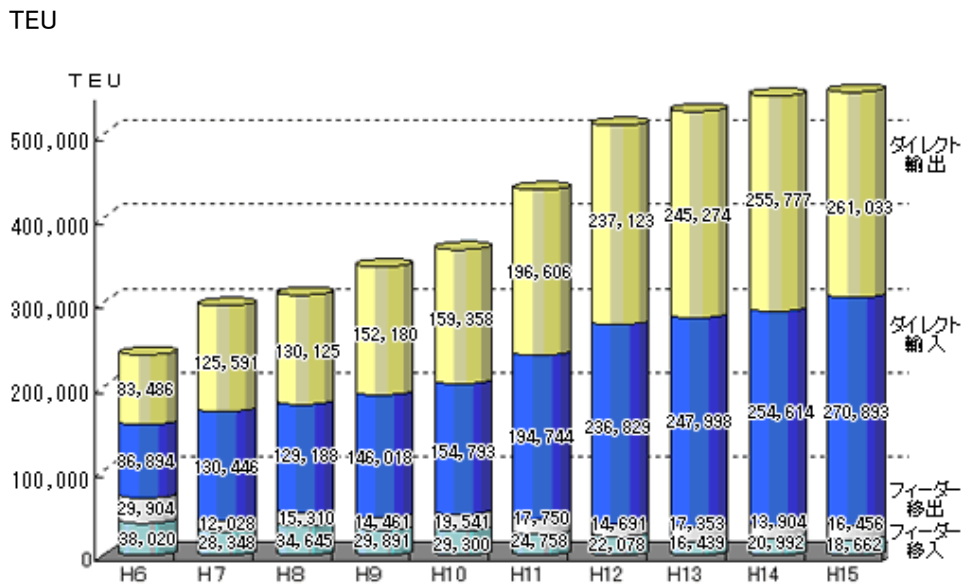


表-12 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分		平成 15 年		14 年		13 年		12 年	
		個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	261,033	102.1%	255,777	104.3%	245,274	103.4%	237,123	120.6%
	輸入	270,893	106.4%	254,614	102.7%	247,998	104.7%	236,829	121.6%
	計	531,926	104.2%	510,391	103.5%	493,272	104.1%	473,952	121.1%
内国貿易 (フィーダー)	移出	16,456	118.4%	13,904	80.1%	17,353	118.1%	14,691	82.8%
	移入	18,662	88.9%	20,992	127.7%	16,439	74.5%	22,078	89.2%
	計	35,118	100.6%	34,896	103.3%	33,792	91.9%	36,769	86.5%
総数	輸移出	277,489	102.9%	269,681	102.7%	262,627	104.3%	251,814	117.5%
	輸移入	289,555	105.1%	275,606	104.2%	264,437	102.1%	258,907	118.0%
	計	567,044	104.0%	545,287	103.5%	527,064	103.2%	510,721	117.7%

※ 実入りコンテナと空コンテナの合計値。

4. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が 50.7 万人(前年比 103.5%)、内国航路は 128.7 万人(同 86.7%)となり、外内航あわせて 179.4 万人(同 90.9%)であった。<図-14、表-13 参照>

図-14 船舶乗降人員の推移

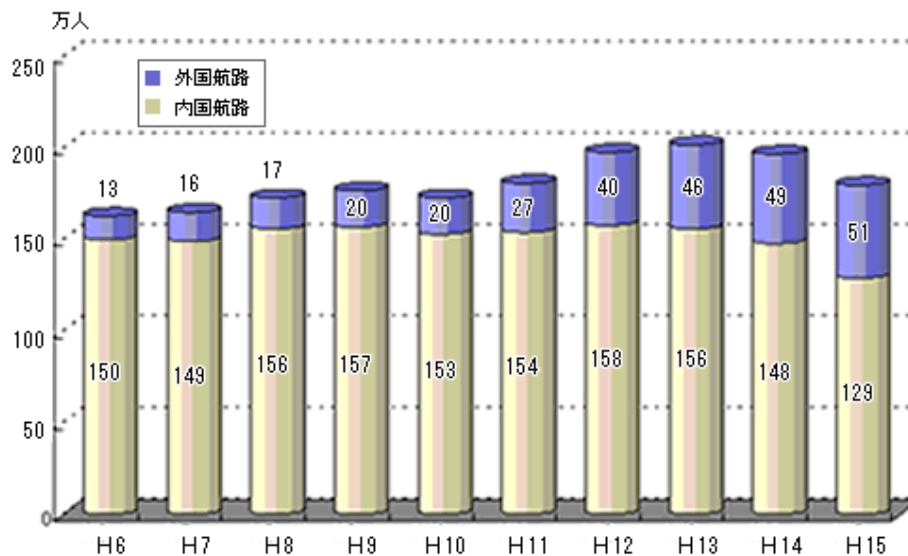


表-13 船舶乗降人員の推移

(単位:人)

区分		平成 15 年		14 年		13 年		12 年	
		人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比
外国航路	乗込人員	255,561	103.6%	246,684	106.3%	231,989	114.3%	202,930	146.4%
	上陸人員	251,178	103.4%	242,999	105.2%	230,993	116.6%	198,188	148.3%
	計	506,739	103.5%	489,683	105.8%	462,982	115.4%	401,118	147.3%
内国航路	乗込人員	661,309	87.0%	759,730	94.8%	801,016	98.9%	810,022	102.4%
	上陸人員	626,145	86.4%	724,381	95.1%	762,049	99.6%	765,347	101.7%
	計	1,287,454	86.7%	1,484,111	94.9%	1,563,065	99.2%	1,575,369	102.1%
総計	乗込人員	916,870	91.1%	1,006,414	97.4%	1,033,005	102.0%	1,012,952	109.0%
	上陸人員	877,323	90.7%	967,380	97.4%	993,042	103.1%	963,535	108.8%
	計	1,794,193	90.9%	1,973,794	97.4%	2,026,047	102.5%	1,976,487	108.9%